

北海道知的障がい特別支援学校対象助成 事業 1

平成 29 年度フットサル用品の寄贈に係る申込書

1 寄贈の内容について

一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会は、貴校が選択する次の組合せを寄贈申し上げます。

・A セット	ゴール 1 組と 3 号球 2 個
・B セット	ゴール 1 組と 4 号球 2 個
・C セット	ゴール 1 組と 3 号球 1 個、4 号球 1 個
・D セット	ゴール 2 組

2 寄贈に係る校長の承認について(4 月 21 日〆切)

本校は、次について、一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会が寄贈するフットサル用品を受け入れることを、校長は承認します。

学校名	
校長名	
事務長名	
希望する組合せ	セット
連絡教頭名・アドレス	連絡教頭名() 連絡教頭メールアドレス()

(当財団担当者 事務局長 鈴木重男) Email アドレス suzuki@kyoshinomichi.jp
携帯電話 090-7519-9503

北海道知的障がい特別支援学校対象助成 事業 2
2017 第 1 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会参加申込書

1 大会参加への校長承認について(4月21日〆切)

本校は、「2017 第 1 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会」に参加します。

学校名	
校長名	

2 申し込みと助成について(4月21日〆切)

一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会が主催する「2017 第 1 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会」に、次の 7 点につき、事前了解の上、参加することを申し込みます。

1	参加者数は、生徒 8 名及び引率者 3 名、計 11 名です。
2	参加者は、(公財)日本サッカー協会「リスペクト宣言」を遵守します。
3	大会参加に係る傷害等保険は、参加校が責任を持ちます。
4	大会当日は、開会式から閉会式まで、他校生徒及び引率者と共に会場で応援します。
5	前泊必要校の基本的考えは、「雨竜高等養護学校」以遠を想定しています。
6	後泊必要校の基本的考えは、札幌市都市間バスターミナルから 3 時間程度以上の乗車時間を想定しています。
7	前後泊の宿泊施設は、当財団が指定した施設に宿泊します。
校長が承認した連絡対応者氏名	
上記の方の Email アドレス	
学校所在地から札幌市都市間バスターミナルまでの障がい者割引往復代金の助成申告(札幌市内交通費は除外)	学校所在地の _____ 市・町・村から札幌市都市間バスターミナルまでの障がい者割引往復代金は、_____ 円です。
前後泊の助成の申告	前泊助成は (不要 必要) 後泊助成は (不要 必要)

3 校長の承認を受けた選手団名簿について(6月2日〆切)

本貴校選手団名簿は、6月2日(金)を〆切として、メールで、送付してください。

学校名				
引率者	職名	氏名	性別	
引率責任者				
引率者				
引率者				
選手背番号	学科	学年	氏名	性別
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

※都市間バス代の助成は、生徒・引率者合計 _____ 円を請求します。

(当財団担当者 事務局長 鈴木重男 Email アドレス suzuki@kyoshinomichi.jp
 携帯電話 090-7519-9503

平成 29 年度は、単置高等部校(含む、北海道五稜郭支援学校)を対象にします。
 平成 30 年度は、単置・併置の全ての高等部を対象に、札幌市アイスアリーナで開催します。

北海道知的障がい特別支援学校対象助成 事業 3

平成 29 年度フットサル指導実践に係る研究指定校申込書

1 指導実践の研究について

知識を組織的・構造的に理解することが困難な障害の程度が重い児童生徒等に対して、フットサルを楽しむことができる指導内容・方法を工夫・開発すること、また学校が中心となって生徒と地域の人々とのフットサルによる共同交流活動をする事、複数の特別支援学校間のフットサル交流会などをする事などを指導実践する研究校を募集します。研究指定校には 10 万円の研究助成をします。

研究指定校は、1 年間のフットサル活動等を整理し、平成 30 年 1 月末を期限として、10 頁～20 頁程度の成果報告書を提出します。当財団は、各校の成果報告書を編纂して、成果報告集を発売します。

指導実践の研究成果は、平成 30 年 3 月 17 日(土)開催「フットサル研修会」にて、1 校 20 分間程度で報告します。

2 指導実践の研究テーマについて

- 1 知的障害の程度が重い児童生徒へのフットサル指導の実践について
- 2 自閉症児へのフットサル指導の実践について
- 3 児童生徒と保護者・地域の人々とのフットサルによる共同交流活動について
- 4 その他、フットサル指導等に係る工夫・開発等について

3 実践研究成果の報告書について

- ・報告書は、10 頁～20 頁程度で研究した内容等を整理・考察・執筆します。
 - ・報告書は、①研究テーマの設定理由 ②現状 ③研究の内容・方法 ④成果と課題 に分けて整理・考察・執筆します。写真・図等を多く取り入れます。
 - ・平成 30 年 1 月末までに、次の執筆書式で、ワードにて作成した文書を当財団担当者にメール送信します。
- ※執筆書式は、A4 版(余白：上下 25 mm・左右 25 mm、文字：明朝体、11 ポイント、行数・文字数：40 行・45 文字)です。

4 実践研究の校長承認について(4 月 21 日〆切)

フットサル指導実践に係る研究指定校に応募します。

学校名	
校長名	
研究テーマ	上記 2 から選択する () 4 を選択した場合は、具体的な研究テーマを記述 ()

実践研究担当者について

担当者名(職名)	(職名)
Email アドレス	

(当財団担当者 事務局長 鈴木重男 suzuki@kyoshinomichi.jp 携帯電話 090-7519-9503

北海道知的障がい特別支援学校対象助成 事業 4
平成 29 年度「北海道エスポラーダ」選手 OB の技術指導員の派遣申込書

1 技術指導員の派遣について

当財団は、日本フットサルリーグ所属「エスポラーダ北海道」選手 OB を希望する各校に派遣し、児童生徒の授業等や各校の児童生徒と保護者・地域の人々との共同交流活動時に、フットサルの楽しさや基礎的・基本的技術を示範して、各校のフットサルへの関心・意欲が高まるようにします。

2 派遣者について

次の日本フットサルリーグ所属「エスポラーダ北海道」選手 OB を派遣します。

吉 田 順 省 氏	社会福祉法人明日佳職員
笠 間 慎 也 氏	社会福祉法人長沼陽風会職員

3 派遣校について

平成 29 年度の派遣校数は、5 校程度を想定しております。平成 29 年度は、フットサル選手の高い技術等に触れることができにくいと考えられる札幌市から遠隔にある学校及び「平成 29 年度フットサル指導実践に係る研究指定校」を優先的に派遣したいと考えております。

なお、社会福祉法人明日佳及び長沼陽風会には、日本フットサルリーグ所属「エスポラーダ北海道」の現役選手と選手 OB が、複数、勤務しておりますので、当財団の派遣とは別に、当該法人本部に、直接、派遣をご依頼ください。

4 派遣受入の希望に係る校長の承認について(4 月 21 日〆切)

本校は、一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会が実施する技術指導員派遣の受入を希望することを、校長は承認します。

学校名	
校長名	
受入担当者名・アドレス	受入担当者名()
	受入担当者メールアドレス()

(当財団担当者 事務局長 鈴木重男) Email アドレス suzuki@kyoshinomichi.jp
携帯電話 090-7519-9503

北海道知的障がい特別支援学校対象助成 事業 5
第 2 回北海道特別支援学校寄宿舎指導員フットサル研修会参加申込書
(本様式を用いて、ワードで作成し、Email 送信してください。)
(申込〆切 平成 30 年 1 月 31 日)

1 申し込みについて

一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会が主催する平成 29 年度開催の第 2 回「フットサル研修会」に参加することを申し込みます。

学校名	
参加申込者名	
参加申込者職種	
学校所在地から札幌市 都市間バスターミナル 往復代金の申告	学校所在地の _____ から 札幌市バスターミナルまで _____ 円です。
前泊助成の有無の申告	前泊助成が (不要 必要)

2 校長の研修承認について

上記寄宿舎指導員等者の当該「フットサル研修会」参加を認めます。
なお、事故等に係る傷害等保険は、当該参加者が負担します。

学校名	
校長名	

3 申込み送信者について

送信者名(職名)	(職名)
Email アドレス	

(当財団担当者 事務局長 鈴木重男 suzuki@kyoshinomichi.jp)
携帯電話 090-7519-9503

平成 29 年 4 月 3 日

札幌市内及び近郊の特別支援学校高等部校
進路指導部 様

社会福祉法人明日佳
理事長 小野寺 眞 悟
(公印省略)

現場実習の受入について

このことにつきまして、当法人は各校生徒の現場実習を積極的に受け入れる方針です。
当法人は、次の事業所での各校現場実習を受け入れます。
2 年生及び 3 年生の現場実習に係るご希望等がありましたなら、ご連絡ください。

記

1 現場実習先と実習内容

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ○「ワークトピアあすか」関係 | パン製造、厨房関係、クリーニング、清掃 |
| ○「あすか House 手稲」関係 | 介護業務関係 |
| ○「あすか House 東苗穂」関係 | 介護業務関係 |

2 連絡先

社会福祉法人明日佳顧問 鈴木 重 男
〒006-0841 札幌市手稲区曙 11 条 1 丁目 7 番 1 号
TEL011-685-3501 携帯TEL090-7519-9503
Email Suzuki@kyoshinomichi.jp

2017 第 1 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会開催要項

- 1 目 的 本大会は、北海道の特別支援学校高等部生徒がフットサルを通して、日々練習してきた成果を踏まえて自校生徒間のチームワークを深め、卒業後の自立と社会参加の可能性を広げるとともに、社会貢献を目指し、他校生徒等の生徒との交流を深めつつ、インクルーシブ社会の実現を地域社会に示すことに寄与することを目的とします。
- 2 会 場 北海道青少年会館コンパス体育館
北海道札幌市南区真駒内柏丘 7- 8-1 電話 011-584-7555
- 3 日 時 平成 29 年 7 月 28 日(金) 午前 9 時 00 分～午後 3 時 00 分
- 4 主 催 一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会
- 5 主 管 一般社団法人 エスポラーダ北海道スポーツクラブ
- 6 協 力 医療法人明日佳
社会福祉法人明日佳
社会福祉法人長沼陽風会
札幌北の杜ライオンズクラブ
- 7 後援予定 北海道教育委員会
札幌市教育委員会
- 8 競技規則 FIFA フットサル競技規則に準拠
- 9 大会日程

① 開会式	午前 9 時 00 分～
② 予選リーグ・決勝トーナメント	午前 9 時 15 分～
③ 表彰・閉会式	午後 2 時 30 分～
- 10 その他
 - ①各校は、生徒 8 名、引率教諭等 3 名、計 11 名で構成します。
 - ②札幌市以外の市町村に設置されている学校には、当該市町村から札幌市までの都市間バスの身体障がい者割引適用の交通費を助成します。
 - ③札幌市から遠距離にあるため、前後泊が必要な学校は、主催者から該当校に事前連絡します。
 - ④各校は、生徒相互の交流・勝者への称賛等を大事にする心を培うため、開会式から閉会式終了の間、会場にて参加します。
 - ⑤各校は、(財)日本サッカー協会「リスペクト宣言」を、事前に指導します。
 - ⑥競技規則及び組合せ等は、競技委員会が作成し、事前に周知します。
 - ⑦②～③は、北海道内の特別支援学校に限定した事項です。